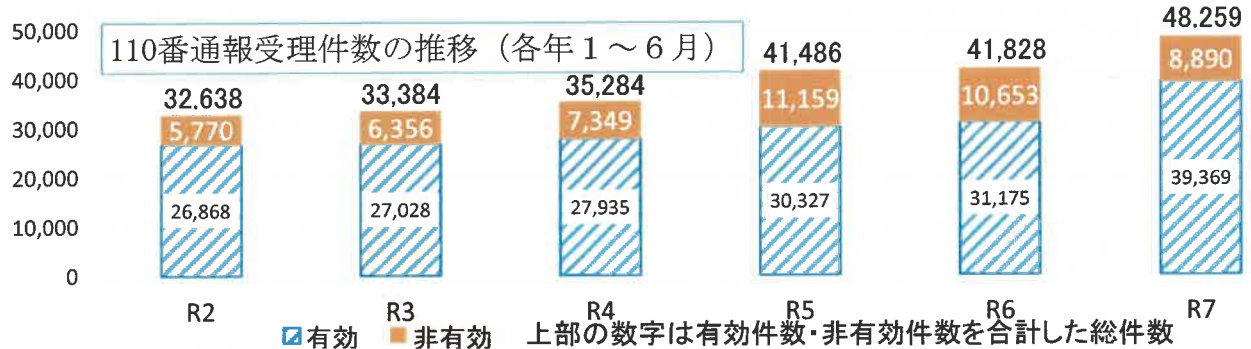


公 安 委 員 会 説 明 資 料 No. 1	警察官の特別派遣について	令和 7 年 7 月 31 日 警 備 部
議題事項 広島県公安委員会及び神奈川県公安委員会から援助の要求があったので、それぞれ受理して警察官を特別派遣するもの		
1 広島県公安委員会からの援助の要求 (1) 派遣目的 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式における警備のため (2) 派遣者 警察官 (3) 援助要求 警察法第60条第 1 項の規定により、広島県公安委員会から援助の要求があったもの 2 神奈川県公安委員会からの援助の要求 (1) 派遣目的 「第 9 回アフリカ開発会議（TICAD 9）」開催に伴う警備のため (2) 派遣者 警察官 (3) 援助要求 警察法第60条第 1 項の規定により、神奈川県公安委員会から援助の要求があったもの		

報告事項

令和7年6月末までの110番受理件数は、総件数48,259件、うち有効件数は39,369件で前年同期より、総件数が6,431件（15.4%）増加、有効件数が8,194件（26.3%）の増加となった。

1 受理件数



◎ 有効件数は、総件数から非有効件数（いたずら、無応答、誤接続、試験通報）を除いた数値

2 有効件数の内訳

(1) 事案等別受理状況

区分		R6 (6月末)	R7 (6月末)	増 減	
				件数	率(%)
有効件数		31,175	39,369	+8,194	+26.3
緊急	交通関係	14,328	15,852	+1,524	+10.6
	各種情報	4,739	6,346	+1,607	+33.9
	続報	3,124	3,995	+871	+27.9
	けんか	1,594	1,905	+311	+19.5
	保護・救護	764	937	+173	+22.6
	刑法犯関係	798	1,093	+295	+37.0
	変死	238	262	+24	+10.1
	災害関係	180	227	+47	+26.1
	法令違反	35	42	+7	+20.0
	小計	25,800	30,659	+4,859	+18.8
不急	苦情・相談等	3,558	6,032	+2,474	+69.5
	各種照会	1,498	2,469	+971	+64.8
	虚報・誤報	319	209	-110	-34.5
	小計	5,375	8,710	+3,335	+62.0

◎ 緊急を要する通報は、有効件数の77.9%

◎ 最も多い事案は、交通関係で有効件数の40.3%

(2) 警察署等別受理状況

区分	R6 (6月末)	R7 (6月末)	増 減	
			件数	率 (%)
東かがわ	566	716	+150	+26.5
さぬき	933	1,202	+269	+28.8
高松東	1,799	2,429	+630	+35.0
小豆	302	482	+180	+59.6
高松北	8,948	11,034	+2,086	+23.3
高松南	6,747	7,815	+1,068	+15.8
坂出	2,299	2,911	+612	+26.6
高松西	1,278	1,584	+306	+23.9
丸亀	4,781	6,158	+1,377	+28.8
琴平	518	765	+247	+47.7
三豊	1,219	1,891	+672	+55.1
観音寺	1,157	1,640	+483	+41.7
高速隊	568	615	+47	+8.3

◎ 高松北及び高松南の2署で有効件数の47.9%
（高松北28.0%、高松南19.9%）

◎ 最多時間帯：16:00～18:00 5,204件（13.2%）

◎ 最少時間帯：4:00～6:00 910件（2.3%）

3 その他

(1) アプリ・FAX110番受理状況

区 分	アプリ	FAX
R7 (6月末)	1	0
R6 (6月末)	14	1

(2) 110番映像通報受理状況

区 分	映像	静止画	総計
R7 (6月末)	2	53	55
R6 (6月末)	5	39	44

◎ 事案は保(救)護関係43件
その他交通事故情報等

(3) 外国人からの110番受理

区 分	総計
R7 (6月末)	110
R6 (6月末)	124

4 課題と対策

- (1) 緊急の事件・事故の通報を阻害する非有効、不急の通報への対策
（対策）適切な110番の利用に関する啓発活動の継続
- (2) 現場警察官の「命を守る」通信指令活動
（対策）危機意識の醸成と現場状況に応じた装備資機材の有効活用指示の徹底
- (3) 迅速・正確な受理・指令のための通信指令担当者の技能向上
（対策）通報者に寄り添った迅速・正確な受理・指令の実施に資する教養訓練の実施

報告事項

令和7年上半期の刑法犯認知件数は3,040件（前年同期比+184件）、検挙件数は1,409件（同+55件）、検挙率は46.3%（同-1.1ポイント）で、前年同期より、認知件数及び検挙件数は増加、検挙率は低下した。

1 令和7年上半期の刑法犯の認知・検挙状況等

(1) 刑法犯の認知・検挙状況

包括罪種		認知件数			検挙件数			検 挙 率		検挙人員			うち)少年		
		前年同期比 増減	前年同期比 %	前年同期比 増減	前年同期比 %	前年同期比 増減	前年同期比 %	前年同期比 増減	前年同期比 %	前年同期比 増減	前年同期比 %				
総	数	3,040	+184	+6.4	1,409	+55	+4.1	46.3	-1.1	818	±0		104	+24	+30.0
凶	悪	24	+1	+4.3	20	-1	-4.8	83.3	-8.0	26	+10	+62.5	4	+3	+300.0
粗	暴	182	-21	-10.3	141	-52	-26.9	77.5	-17.6	156	-34	-17.9	20	-4	-16.7
窃	盗	1,692	+161	+10.5	824	+13	+1.6	48.7	-4.3	410	-6	-1.4	44	+3	+7.3
	侵入盗	144	+18	+14.3	134	+75	+127.1	93.1	+46.3	30	+10	+50.0	2	+1	+100.0
	乗り物盗	487	+60	+14.1	57	-4	-6.6	11.7	-2.6	28	+7	+33.3	15	+3	+25.0
	非侵入盗	1,061	+83	+8.5	633	-58	-8.4	59.7	-11.0	352	-23	-6.1	27	-1	-3.6
知	能	544	-1	-0.2	116	+18	+18.4	21.3	+3.3	46	-4	-8.0	8	+5	+166.7
風	俗	81	+2	+2.5	75	±0		92.6	-2.3	50	+6	+13.6	7	+4	+133.3
そ	の他	517	+42	+8.8	233	+77	+49.4	45.1	+12.3	130	+28	+27.5	21	+13	+162.5

(2) 重要犯罪の認知・検挙状況

罪 種	認知件数	検挙件数			検 挙 率			検挙人員			うち)少年			
		前年同期比		前年同期比 増減	前年同期比		前年同期比 増減	前年同期比		前年同期比 増減	前年同期比			
		増減	%		増減	%		増減	%		増減	%		
総 数	45	-3	-6.3	37	-5	-11.9	82.2	-5.3	37	+4	+12.1	6	+4	+200.0
殺 人	1	-4	-80.0	1	-4	-80.0	100	±0	2	±0		0	±0	
強 盗	3	+1	+50.0	2	-1	-33.3	66.7	-83.3	5	+2	+66.7	0	±0	
放 火	1	-2	-66.7	2	±0		200.0	+133.3	3	±0		0	±0	
不同意性交等	19	+6	+46.2	15	+4	+36.4	78.9	-5.7	16	+8	+100.0	4	+3	+300.0
略取誘拐・人身売買	1	-2	-66.7	2	±0		200.0	+133.3	2	±0		0	±0	
不同意わいせつ	20	-2	-9.1	15	-4	-21.1	75.0	-11.4	9	-6	-40.0	2	+1	+100.0

(3) 重要窃盗犯の認知・検挙状況

手 口 等	認知件数			検挙件数			検 挙 率		検挙人員			うち)少年		
		前年同期比			前年同期比			前年同期比 増減		前年同期比			前年同期比	
		増減	%		増減	%				増減	%		増減	%
総 数	153	+22	+16.8	140	+76	+118.8	91.5	+42.6	37	+14	+60.9	6	+5	500.0
侵 入 盗	144	+18	+14.3	134	+75	+127.1	93.1	+46.3	30	+10	+50.0	2	+1	100.0
住 宅 対 象	40	-8	-16.7	49	+16	+48.5	122.5	+53.8	14	+6	+75.0	1	+1	
住宅対象以外	104	+26	+33.3	85	+59	+226.9	81.7	+48.4	16	+4	+33.3	1	±0	
自 動 車 盗	8	+5	+166.7	5	+2	+66.7	62.5	-37.5	5	+4	+400.0	2	+2	
ひ っ た く り	0	-1	-100.0	0	-1	-100.0	0	-100.0	0	±0		0	±0	
す り	1	±0		1	±0		100.0	±0	2	±0		2	+2	

2 下半期に向けた取組

(1) 検挙対策

- ア 重要犯罪等発生時の迅速・的確な初動捜査による早期検挙
- イ 連続的・広域的に発生する犯罪に対する早期検挙と組織捜査の推進
- ウ 匿名・流動型犯罪グループ等犯罪組織対策の推進
- エ 現場鑑識活動及び科学技術を活用した科学捜査の徹底による客観的証拠の収集

(2) 抑止対策

- ア 情勢を踏まえた犯罪抑止対策の推進
- イ 訴求力のある情報提供の推進
- ウ 関係機関と連携した各種被害防止対策の推進

別表

包括罪種	罪 種	罪 名
凶悪犯	殺 人	殺人罪、嬰兒殺、殺人予備罪、自殺関与罪
	強 盗	強盗殺人罪(致死を含む。)、強盗傷人罪、強盗・不同意性交等罪(致死を含む。)、強盗罪・準強盗罪(強盗予備、事後強盗、昏睡強盗)
	放 火	放火罪、消火妨害罪
	不同意性交等	不同意性交等罪(致死傷を含む。)、監護者性交等罪
粗暴犯	凶器準備集	凶器準備集合罪、凶器準備結集罪
	暴 行	暴行罪
	傷 害	傷害罪、傷害致死罪、現場助勢罪
	脅 迫	脅迫罪、強要罪
	恐 喝	恐喝罪
窃盗犯	窃 盗	窃盗罪 (重要窃盗犯が含まれる。)
知能犯	詐 欺	詐欺罪、準詐欺罪
	横 領	横領罪、業務上横領罪
	偽 造	通貨偽造罪、文書偽造罪、支払用カード偽造罪、有価証券偽造罪、印章偽造罪
	汚 職	賄賂罪(収賄罪、贈賄罪)、職権乱用罪(致死傷を含む。)
	あつせん利得	公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律に規定する罪
	背 任	背任罪
風俗犯	賭 博	普通賭博罪、常習賭博罪、賭博開張等罪
	わ い せ つ	不同意わいせつ罪(致死傷を含む。)、監護者わいせつ罪、公然わいせつ罪、わいせつ物頒布等罪
	面 会 要 求 等	面会要求等罪、映像送信要求罪
	性的姿態撮影等 処 罰	性的姿態等撮影罪、性的影像記録提供等罪、性的影像記録保管罪、性的姿態等影像送信罪、性的姿態等影像記録罪、消去命令違反等罪
その他	上記以外	器物損壊等罪、占有離脱物横領罪、住居侵入罪、略取誘拐・人身売買罪等

※重要犯罪・重要窃盗犯

治安情勢を観察する場合に、統計上、その指標となる犯罪として掲げるもので、その内訳罪名(手口)は、次のとおりである。

- ・重要犯罪(6種) ・殺人、強盗、放火、不同意性交等、略取誘拐・人身売買、不同意わいせつ
- ・重要窃盗犯(4種) ・侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり

公 安 委 員 会 説 明 資 料 No. 4	令和7年上半期における特殊詐欺及びSNS型 投資・ロマンス詐欺の認知・検挙状況等について (暫定値)	令和7年7月31日 刑事部・生活安全部
----------------------------	--	------------------------

報告事項

- 令和7年上半期の特殊詐欺については、認知件数 183 件（前年比+92 件、約 2 倍）、被害総額約 5 億 4,800 万円（同+約 3 億 5,000 万円、約 2.8 倍）と、認知件数及び被害額ともに増加している。
- 令和7年上半期のSNS型投資・ロマンス詐欺（特殊詐欺に該当するものを除く。）については、認知件数 115 件（前年比-17 件）、被害総額約 7 億 5,400 万円（同一約 4 億 800 万円）と、認知件数及び被害総額ともに減少している。

1 特殊詐欺の被害・検挙状況

(1) 被害状況

特殊詐欺類型	令和7年6月末				令和6年6月末				増 減			
	認知			被害額	認知			被害額	認知			被害額
	既遂	未遂	計		既遂	未遂	計		既遂	未遂	計	
オレオレ詐欺	68	2	70	430,289,914	8	0	8	117,464,902	+60	+2	+62	+312,825,012
預貯金詐欺	2	0	2	1,000,000	2	0	2	1,565,000	0	0	0	-565,000
架空料金請求詐欺	84	0	84	82,778,969	65	0	65	58,656,900	+19	0	+19	+24,122,069
還付金詐欺	5	0	5	4,771,858	2	0	2	1,695,069	+3	0	+3	+3,076,789
融資保証金詐欺	9	0	9	7,754,925	6	0	6	3,334,858	+3	0	+3	+4,420,067
金融商品詐欺	1	0	1	8,000,000	3	0	3	6,485,000	-2	0	-2	+1,515,000
ギャンブル詐欺	0	0	0	0	1	0	1	1,896,640	-1	0	-1	-1,896,640
交際あっせん詐欺	7	0	7	6,523,600	0	0	0	0	+7	0	+7	+6,523,600
その他の特殊詐欺	5	0	5	6,777,716	3	0	3	6,188,728	+2	0	+2	+588,988
キャッシュカード詐欺盗	0	0	0	0	1	0	1	584,000	-1	0	-1	-584,000
合 計	181	2	183	547,896,982	91	0	91	197,871,097	+90	+2	+92	+350,025,885

※ 被害の特徴

- 手 口 ～ 架空料金請求詐欺が全体の 45.9% (84 件)、オレオレ詐欺が全体の 38.3% (70 件) を占めており、特にオレオレ詐欺が増加（前年比+62 件）している。
オレオレ詐欺では、警察官等をかたり、捜査名目で現金等をだまし取る手口による被害が顕著である。
- 被 害 額 ～ オレオレ詐欺の被害額が全体の 78.5%（約 4 億 3,000 万円）を占める。
- 年 齢 ～ 高齢者（65 歳以上）が全体の 33.3%（61 人）を占めるが、年代別では 20 代が 24.0%（44 人）と最も多く、幅広い年代に被害が及んでいる。
- 性 別 ～ 男性が 58.5%（107 人）、女性が 41.5%（76 人）である。
- 交付形態 ～ 既遂 181 件中、振込型が全体の 70.7%（128 件）、電子マネー型が全体の 17.7%（32 件）を占める。

(2) 検挙状況

- 詐 欺 等 ～ 26 件 6 人（前年比± 0 件、- 7 人） ※組織的犯罪処罰法を含む。
- 助長犯罪 ～ 34 件 17 人（前年比+18 件、± 0 人）

2 SNS型投資・ロマンス詐欺の被害・検挙状況

(1) 被害状況

令和7年							令和6年						
	SNS型投資詐欺		SNS型ロマンス詐欺					SNS型投資詐欺		SNS型ロマンス詐欺			
			投資名目		ロマンス等名目					投資名目		ロマンス等名目	
	認知 件数	被害額(円)	認知 件数	被害額(円)	認知 件数	被害額(円)		認知 件数	被害額(円)	認知 件数	被害額(円)	認知 件数	被害額(円)
1月	6	26,673,096	10	52,127,392	2	4,093,000	1月	17	126,911,409	4	34,195,657	0	0
2月	3	6,300,000	8	20,476,000	2	10,777,034	2月	30	200,460,694	4	84,609,040	0	0
3月	3	1,620,653	7	132,250,199	3	1,031,000	3月	23	274,729,060	5	11,008,765	3	32,372,513
4月	14	187,404,871	2	10,040,000	6	8,217,478	4月	9	67,897,782	4	18,244,339	1	1,737,171
5月	10	34,517,000	10	106,517,690	9	23,979,443	5月	8	102,462,592	2	10,937,827	2	22,711,476
6月	10	40,472,892	9	85,785,784	1	1,307,000	6月	12	121,024,042	2	28,095,151	6	23,829,500
7月							7月	9	157,748,975	3	55,080,000	1	5,540,000
8月							8月	12	45,247,628	5	50,527,000	1	1,450,000
9月							9月	19	137,410,626	6	58,780,000	5	27,406,498
10月							10月	18	132,607,829	9	95,896,294	11	53,479,448
11月							11月	8	105,679,533	6	58,728,121	1	40,000
12月							12月	5	160,124,747	8	66,570,683	1	150,000
合計	46	296,988,512	46	407,197,065	23	49,404,955	合計	170	1,632,304,917	58	572,672,877	32	168,716,606

※ 認知件数：115 件 被害額：約 7 億 5,400 万円

うち、投資名目の詐欺(SNS型投資詐欺及び投資名目のSNS型ロマンス詐欺の合計)

認知件数：92 件 被害額：約 7 億 400 万円

※ 被害の特徴

- 年 齢 ～ 50 代 (全体の 33.9% (39 人)) と 40 代 (全体の 18.3% (21 人)) で過半数を占める。
- 性 別 ～ 男性が 64.3% (74 人)、女性が 35.7% (41 人) である。
- 交付形態 ～ 振込型が全体の 72.2% (83 件)、暗号資産送付型が全体の 20.0% (23 件) を占める。

(2) 検挙状況

- 詐欺等 ～ 9 件 3 人 (前年比 + 5 件、± 0 人) ※組織的犯罪処罰法を含む。
- 助長犯罪 ～ 0 件 0 人 (前年比 ± 0 件、± 0 人)

3 検挙・抑止に向けた取組

(1) 検挙対策

- 迅速な初動捜査による実行犯の検挙と突き上げ捜査による上位被疑者の摘発
- 金融機関との連携による被害者の早期把握及び的確な捜査の推進
- サイバー部門と連携した暗号資産追跡等の捜査の推進
- 特殊詐欺連合捜査班の運用及び他都道府県警察との合・共同捜査の積極的な推進
- 組織的犯罪処罰法の積極的な適用による犯罪収益等の剥奪

(2) 抑止対策等

- 被害阻止状況 ・ 阻止件数：77 件 (前年同期比 + 23 件)
・ 阻止金額：約 9,677 万円 (前年比 + 約 8,877 万円)
- 情勢に応じたタイムリーかつ効果的な広報啓発活動の推進
 - ・ ヨイチポリス、ヨイチメール等を活用したタイムリーな情報発信
 - ・ 特殊詐欺被害等仮想体験ツールの活用
- 被害防止のための身近な対策の推進
 - ・ 防犯アドバイザーによる被害防止対策
 - ・ 国際電話不取扱受付センターの周知徹底
- 関係機関・団体と連携した被害防止対策の推進
 - ・ コンビニエンスストアと連携した水際対策

公 安 委 員 会 説 明 資 料 No. 5	「第 58 回さぬき高松まつり」の開催に伴う雑 踏警備の実施について	令和 7 年 7 月 31 日 警 備 部
----------------------------	---------------------------------------	--------------------------

報告事項

表記まつりは、8 月 12 日から 14 日までの 3 日間、高松市中心部市街地において開催される。本年は、花火大会の規模が拡大したため、所要の体制を強化したうえで雑踏警備を実施する。

1 警備方針

雑踏事故、事件等の未然防止及び突発事案発生時における迅速・的確な対応

2 主要行事日程及び警備体制

日 時	場 所	行 事	警察官等	自主警備
8 月 12 日 (火) 17:30～21:45	中央公園	オープニングセレモニー ステージイベント	17 人	18 人 (うちガードマン 13 人)
8 月 13 日 (水) 18:00～22:00 (花火 20:15～20:45)	中央公園	ステージイベント	241 人	512 人 (うちガードマン 254 人)
	サンポート等	花火大会		
8 月 14 日 (木) 19:00～21:00 (総おどり 17:45～21:00)	中央公園	ステージイベント	166 人	257 人 (うちガードマン 127 人)
	中央通り	総おどり		

3 前年からの変更点

(1) 花火大会

- 花火の規模を 30 分間 6,000 発に拡大
- 有料観覧席を設置 (せとシーパレットに 2,000 席)
- 多目的広場等に露店 45 店舗が出店

(2) 総おどり

昨年から大幅な変更点なし

4 警備諸対策

(1) 花火大会

ア 交通規制

- 規制時間が、サンポート地区 (18:00～22:00)、水城通り (19:00～22:00) に変更
- JR 高松駅北側をプロムナード化規制 (20:30～22:00)

イ 雑踏事故防止対策

- 車両侵入防止措置～固定配置車両、パイプ柵やカラーコーンの設置等
- 観客滞留防止～マイク広報による混雑防止の誘導、歩行者用動線の確保等
- 映像配信関係～高所から雑踏及び人流状況の確認等

(2) 総おどり

ア 交通規制

中央通りの一部及び中央公園北側、南側の市道を歩行者用道路に規制

イ 雑踏事故防止対策

- 観客滞留防止措置～横断歩道橋上からの観覧防止、地下道での滞留防止等
- おどり区間における歩行者乱横断防止措置
- 車両侵入防止措置等：主要交差点での車両固定配置等による車両侵入防止、規制区間に通じる各交差点に、鉄柵・コーンバー等を設置

(3) 花火・総おどり共通事項

現地警備本部の開設